

《医薬品・バイオ技術》

ライセンス・研究提携推進のための

基本原則と個別事象への適用の実際

～基本原則を知らずに生じる致命的失敗、その詳細な事例研究と失敗回避策～

●日時 平成21年1月27日(火) 12:30～16:30
●聴講料 1名につき49,980円(消費税含む・資料付き)

●会場 [東京・五反田] ゆうぼうと 5F くれない
[1社2名以上同時申込の場合1名につき39,480円]

●講師 (有)医薬ライセンス研究所 代表取締役 工学博士 岩並 澄夫 氏

●ご略歴

- 山之内製薬にて長期に亘り、国際事業、国際ライセンス、戦略企画、製品企画、創薬研究部門にてアライアンスの責任者を歴任。欧米企業との交渉と英文契約に関する豊富な経験を積む。
- 2001からスイス系グローバル企業のノバルティスファーマKKに移籍、ライセンシング部長。スイス本社と日本企業、バイオベンチャー、アカデミアとのライセンス及び研究提携ほか各種の技術評価、交渉及び契約業務を担当。
- 現在、医薬品、バイオ技術、提携交渉のコンサルタント会社である(有)医薬ライセンス研究所、代表取締役。国際及び国内ライセンス、研究、開発アライアンスに関する契約及びビジネス交渉が専門。製薬国内大手・中堅、外資大手、バイオベンチャー、アカデミアの何れの立場からも多くの交渉経験を持つ。医薬バイオビジネス関連アドバイザーとして、現在活躍中。

【講座趣旨】 医薬品・バイオ技術のライセンス・研究提携において、繰り返される致命的失敗の多くは、業務推進のための基本原則を習得し、それを個別事象へ適用することにより容易に回避できる。今回は、提携プロセスの各ポイントにおける基本原則の具体的適用方法を解説し、重篤な結末に至る失敗事例の幾つかにつき詳細に分析・検討し、併せてその回避策についても学習する。

1. 最近の報道記事より

(産学連携に見る驚くべき事例の数々、ほか)

2. 事業開発業務推進の基本

1) 何度言っても言い足りない、提携のための基本の基本

- ・提携の目的を正しく把握・理解する
- ・提携に必要な基本原則を学ぶ(獲得物と対価のバランスほか)

2) 医薬品・バイオ技術提携交渉に成功の秘訣はあるか？

- ・医薬品・バイオ技術提携交渉における基本原則習得と失敗事例の熟知度(失敗を失敗と知ることが重要)が提携交渉のデキに影響する
- ・提携の標準プロセスと推進の心構え
- ・簡潔性と論理の一貫性を保つ
- ・日々、改善に努める

3. 提携の各プロセスにおけるポイント、

成功・失敗事例の研究とその対策

- 1) 評価段階(CDA, MTA, DD = Due Diligence)
- 2) 交渉初期段階(Term Sheet, LOI, MOU, OA)
- 3) 本格交渉段階(LA, RCA, FFSA= Fee For Service Agreement)
- 4) 交渉手法と契約書条項作成の巧拙とは？

5) 種々の失敗事例とは？ 貴重な他山の石！

知らない？ 考えない？ 懲りない？ 事例集

①致命的な事態に陥るケースとその対策(下記は一部事例)

- i) 提携の基本を知らないための失敗例
 - ・この支払いは何に対する対価か？
 - ・この貢献に対する対価は何か？
- ii) 相手方のまさかの倒産で後悔しないためには？
 - ・Licensorの倒産: 特定通常実施権登録制度発足、Section 365(n)とは？
 - ・Licenseeの倒産: 妥当な条件設定とは？
- iii) 契約期間に関する条項(損をしない契約期間の決め方)
 - ・大学/TLOの無知に付き合う失敗例(契約期間、医薬品の特殊性)
- iv) 満了・終了・解約時の規定は如何にすべきか？

②重大な事態に陥るケースとその対策(下記は一部事例)

- v) 経済条件に関する失敗例(Milestone条項の抜け道を塞ぐ方法)
- vi) Bio-Ventureであるが故の失敗例(承継、公表、解約時のサブライセンス条項)
- vii) 特許に関する失敗例(特許共有の意味とは？)
- viii) 当然の権利主張とは？(誠実実施、Grant-Back、査察、報告義務?)

③契約書条項設定の巧拙に関わる失敗例と工夫の紹介

4. 特別Q&A: 聴講申込者からの、ライセンスに関する具体的疑問点又は事案につき、事前の質問を受け付けます。幾つかの事前質問に付き会場で解説し、回答します。

【質疑応答】

●セミナー終了後に会場ロビーにおいて(1時間程度の時間で)個別質問を受け付けます。

「ライセンス」セミナー申込書		No.901111	1/27	(講師紹介 15,750円割引)
会社名	事業所 事業部	講師からの紹介割引といたしまして、1名につき15,750円割引します。2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。		
住所	〒 【質疑応答】	申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込み下さい。申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送り致します。		
TEL	FAX			
所属部課 役職名	氏名(フリガナ)	e-mail	ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師の方へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、次のURLをご参照ください。http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm	
受講者1				
受講者2				
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)		[郵送(宅配便)・FAX・e-mail]		〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目29番5号日幸五反田ビル8F 技術情報協会 FAX 03-5436-5080 TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD. [申込専用]